

2025 年 5 月 14 日

CSPC (The Center for the Study of the Presidency and Congress)
2025-2026 Presidential Fellows Program 参加学生募集要項

添付資料

- 【学生提出様式】2025-2026 CSPC 申込書(Word 文書)
- 【学生提出様式】2025-2026 Nomination Form(PDF 文書)

1. 主旨

米国の CSPC(The Center for the Study of the Presidency and Congress)が主催する「2025-2026 Presidential Fellows Program」への日本人参加学生を募集致します。このプログラムは、米国を中心とした、各国のトップクラスの大学に所属する学生たちが、ワシントン D.C.に集まり、米国の政策等について議論を行い、研究課題に沿った論文を作成するものです。若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、米国の他、日本、ブラジル、カナダ、ハンガリー、メキシコ、スペイン、英国等から毎年約 70 名が参加しています。

2020 年度まで、日本人参加学生の募集・選考は日米研究インスティテュート(USJI)及び各 USJI 連携大学を通じて行っておりましたが、USJI が 2020 年度末に解散したことに伴い、2021 年度以降は元 USJI 連携大学が個別に日本人参加学生の募集・選考を行なっています。筑波大学でも参加者募集を行い、候補者 1 名を選出し、CSPC に推薦します。

派遣者は例年ワシントン D.C.を訪問し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、論文を提出し、翌年 3 月に実施される予定の会議で発表することが求められます。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン・オンサイト(ワシントン D.C.)によるハイブリッド型の実施を予定しています。今後の状況により、実施形態や実施内容・スケジュールが変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

応募資格・応募条件・応募方法等詳細は以下を確認してください。

2. 概要

(1) 募集人数

1名

(2) スケジュール(オンライン・オンサイトによるハイブリッド開催)

- ・2025 年 10 月～2026 年 5 月 毎月のバーチャル・ミーティング実施
 - ・2026 年 3 月 18 日～25 日(for international Fellows)に、米国ワシントン D.C.訪問(「リーダーシップ会議」)予定
- ※状況により、変更の可能性有。

(3) 費用

CSPC 負担(5,900USD):

参加費、渡航費(国際航空券)、米国内滞在費、ホテルでの食事、ワシントン D.C.内での会議にかかわる交通費

学生自己負担:

プログラムフィーとしての 5,600USD に加え、海外旅行保険費用、場合により米国内での医療費、他上記以外の生活費

3. 応募資格

以下を満たしていること。

(1) 正規生として筑波大学に在籍する学類・大学院学生。留学中の学生も対象とする。

- 例年米国側フェロー学生は、参加時に学部 4 年生が多い。日本側フェローとしては、基本的には学類・大学院の全学年を対象とするが、学類 4 年生・修士 2 年生等の最終学年で応募する場合、春学期にリーダーシップ会議を開催する可能性があることから(2026 年 3 月 18 日から 25 日予定)、翌年度の進路として筑波大学の大学院進学・博士後期課程進学を予定している者が望ましい。
- 全ての学類・学位プログラムからの応募が可能。過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」等であった。
- なお、本年はアメリカ建国 250 周年にあたるため、「建国 250 周年」に関するテーマを研究に盛り込む必要がある。

4. 応募条件・注意事項

(1) 成績優秀であること(GPA3.5 以上、平均して A-の成績であること)。

(2) 英語で議論する能力、ライティング能力について、米国学生と遜色ない能力を有していること。また、米国政治、国際関係への強い興味を持っているとともに、ディスカッションの場で自身の専門分野のみならず、文化、歴史、時事問題などを含めて幅広く日本について議論でき、貢献できること。グループ、チームワーク学習に積極的に参加できること。

(3) 米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。10-15 枚の最終論文ならびにその他の提出課題を期日までに作成すること。なお、

2025-2026 年度のプログラムでは、2026 年 7 月 4 日に祝われる米国の 250 周年記念に焦点を当てる必要がある。その他、CSPC の要請に応じて Proposal や Blog Post の作成等に応じること。

- (4) スケジュールに記載のあるイベント(本書「2. 概要」参照)の全てに参加できること。なお、大学や個人の都合を理由とした欠席や遅れての参加は認められないので注意すること。
- (5) 本学の規定に基づき、米国でのリーダーシップ会議参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。
- (6) 派遣が決定した後でも、スケジュールに記載のイベントへ参加しないなど不適格な行動が見られる場合、以降のプログラムへの参加を認めない場合があるので注意すること。
- (7) 応募者は、プログラム参加に伴い、氏名、所属大学・専攻、学年の情報および発表資料や参加風景写真を、CSPC のホームページや報告書等に掲載することに同意したものとする。

5. 応募方法

(1) 提出書類

提出資料およびファイル名	書式	ファイル形式
1. 2025-2026 CSPC 申込書 「01_ローマ字姓 Application.docx」	学生提出様式	Word
2. 英文履歴書(CV) 「02_ローマ字姓 CV.pdf」	自由、A4 サイズ	PDF
3. 2025-2026 Nomination Form 「03_ローマ字姓 Nomination.pdf」	学生提出様式	PDF

- (2) 提出先: 所属する教育組織に対応する支援室等
- (3) 提出締切日時: 2025 年 7 月 8 日(火)17 時(厳守)

6. 選考方法

書類選考・面接等により本学からの候補者 1 名を選考します。

7. 個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て CSPC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、厳重に管理の上、CSPC の運営活動目的以外には使用しません。

【問い合わせ先】学生部学生交流課(海外留学)E-mail:isc-kaigai@un.tsukuba.ac.jp

－2013-2014 参加学生の声－ 早稲田大学卒業生 庄司 航平

CSPC International Fellows Program は貴重な機会を数々与えられるプログラムであります。一方で、それを最大限に活かすためには相当の覚悟、準備、知識、コミュニケーションスキル、そして勇気が必要だと感じました。プログラムの詳細に記載されているように、世界中のトップレベルの学生、政府高官及び高ランクの国際機関職員など、普段ではお会いできない人々と少人数でディスカッションをするイベントが多数あります。ここで勇気を振り絞り、会議までに重ねてきた準備や知識を活かし、ハイレベルなディスカッションに貢献できれば貴重な意見や情報を聞くことができます。さらに、場合によっては連絡先を頂くことができ、今後の情報収集、ネットワーキングにおけるかけがえのない財産となる可能性すらあります。また、自由時間については、Ivy League 校をはじめとするそれぞれの大学内の選抜を潜り抜けてきた優秀な学生とパーソナルなレベルで交流する機会でもあります。他にもアメリカ政治の中心というユニークな環境を活かし、例えば事前に普段日本ではお会いできないような方々と個人的に連絡を取り、面談を入れたりすることもできます。ただし、当プログラムではあくまでこのような機会が与えられるだけです。ディスカッション中に何も発言せず、自由時間にテレビを見ていても、すべてのタスクを終えることはできます。しかし、これではあまりにももったいないと思います。当プログラムは、大学時代最大のハイライトとなり得ますし、今後の人生における貴重な財産をいくつも得られる機会でもあります。以上を踏まえ、CSPC International Fellows Program を最大限に活かせると思う方々には、奮って応募いただきたいと思います。



－2012-2013 参加学生の声－ 立命館大学卒業生 吉川 睦（2013 Moffet Award 受賞）

CSPC International Fellows Program の一番の魅力は、アメリカ現代政治、外交や国際経済、リーダーシップなど幅広い分野のゲストスピーカーから話を聞くことができ、それだけではなく、その場で意見交換ができることだと感じました。年に2回ある会議は、前半の International Fellows だけで、ペンタゴンやアメリカ国務省、シンクタンク、大使館などを訪問するフィールドスタディと、後半のアメリカ人学生と合流し、ホテルの会議室で開かれる Presidential Fellows Conference に分かれています。実際にワシントン D.C.で働いている人に会い、話を聞き、質問をする、アメリカならではのインタラクティブなプログラムです。

私は、このプログラムを通して、アメリカ政治はもちろんのこと、今アメリカ人学生が何を考えているのか、どういうキャリアを描いているのか、ディスカッションにはどのように参加したら良いのか、などの実践的な知識も学ぶことができました。

応募を考えている人へ。全体を通して、とても詳しいアメリカ政治や歴史の知識が問われます。また、政治家やジャーナリストやリサーチャーとしての働き方などの話もたくさんあります。アメリカ政治専門の方、政治家志望の方、現在大学生で大学院志望の方等に是非、応募して欲しいと思います。



以上